

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 21 号)

2023年 4月 3日発行
 兵庫のみ研究所

海域西部では、小型珪藻のスケルトネマ、ユーカンピアは確認されていますが、発生量は少ない状況です。窒素は、明石海峡部の海水の影響が見られる林崎漁場～二見漁場東部で、陸水等の影響が見られる地点を除き、概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台、二見漁場西部～高砂漁場の地先で $2 \sim 4 \mu\text{g-at/L}$ 台、沖筋で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後の値となっています。

(水温) 漁場内平均 12.2°C 。昨年比 1.2°C 、平年比 0.5°C とともに高い。(塩分) 平均 32.59psu 。前回 (32.35) より 0.24psu 高い。
 (珪藻) 海域東部では、栄養塩を消費する珪藻類はほぼ確認されない。海域西部では、前回 (3/28) 調査と同様に、スケルトネマ、ユーカンピアは確認されるが、発生量は少ない。各海域のユーカンピア発生量 (海水 1ml あたり) は、林崎～二見漁場で $0 \sim 4$ 細胞 (前回値: $0 \sim 5$ 細胞)、別府～高砂漁場で $10 \sim 90$ 細胞 (前回値: $20 \sim 50$ 細胞) であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.5	12.2	11.7	11.0
窒素	3.6	2.5	3.0	2.9
リン	0.34	0.28	0.26	0.28

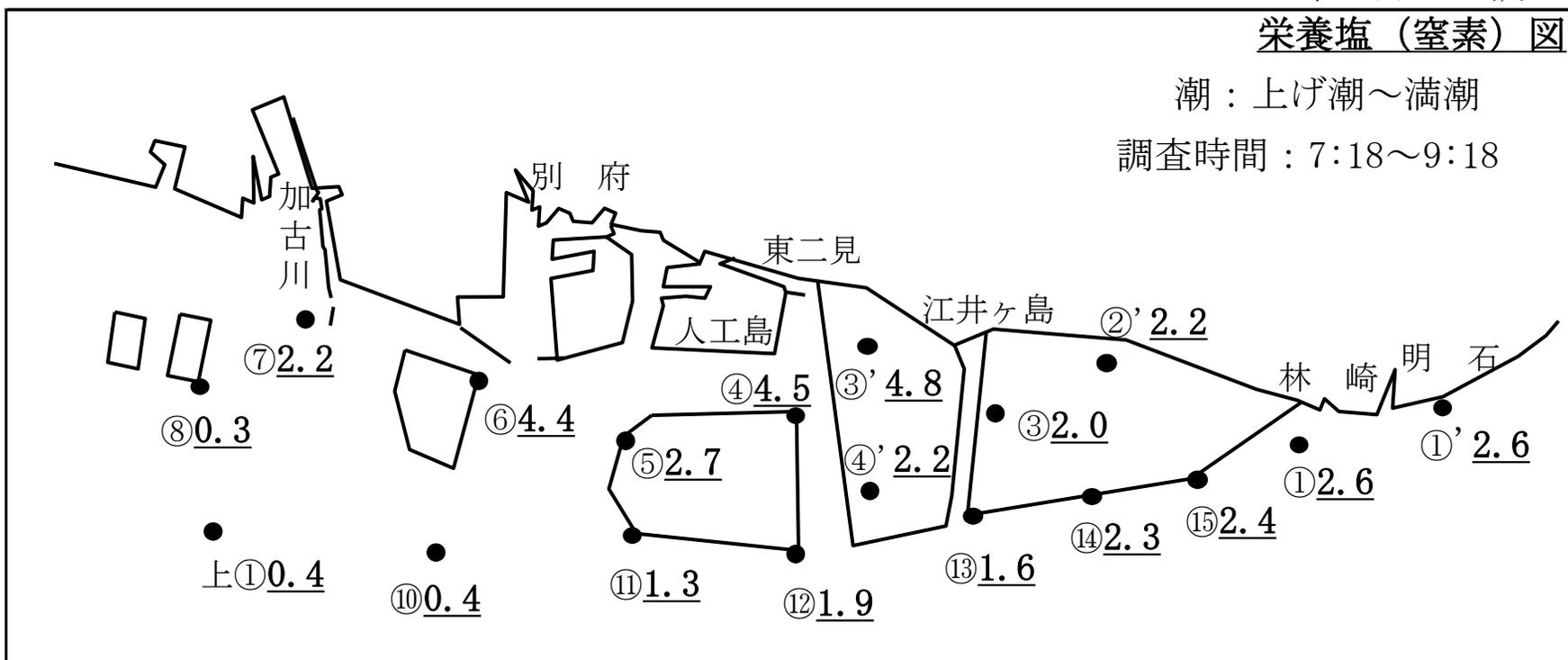
(3/28) (4/1)

2023年 4月 3日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:18～9:18



水温図

